



RE・START

リスタート



発行 行田市教育委員会

市では、学校再編計画に基づき、忍・行田・埼玉・太田中学校区を通学区域とする義務教育学校(以下「Bブロック新校」)を令和12年度に開校することを目指し、取組みを進めています。

今月は、令和8年4月に策定したBブロック新校「基本構想」で掲載している普通教室について、さらには本市が「小中一貫教育」に取り組む背景や期待できる効果などにフォーカスして紹介します。

Bブロック新校基本構想を策定しました

Bブロック新校の設計・工事を進める上での基本的な考え方を示す「基本構想」について、市民説明会及び市民意見募集（パブリックコメント）を経て、本年4月に策定しました。

本構想では、アンケート結果やワークショップでいただいたご意見を踏まえて、新校整備に当たってのコンセプトの他、校舎等の配置計画、諸室の平面計画イメージなどについて示しています。

今後は、皆さんの「想い」が詰まった本構想を踏まえ、基本設計の作成に取り組めます。

新校の普通教室は、ゆとりをもった柔軟な学びに対応します

基本構想作成に当たって、実施した児童生徒向けのアンケートで、「新しい学校に、どんな部屋やスペースがあったらいいと思いますか（3つまで選択）」という質問をしたところ、「明るくて、広い教室」や「調べたり、友だちと話し合っ、学習できる場所」を選択する割合が高い結果となりました。

いただいた意見を踏まえ、新校の普通教室は、机や椅子の配置が自由に変更できる十分な広さを確保するとともに、グループ学習など多様な学習形態を想定して、隣接するオープンスペースとの連携を図ります。

〈小学生の結果〉

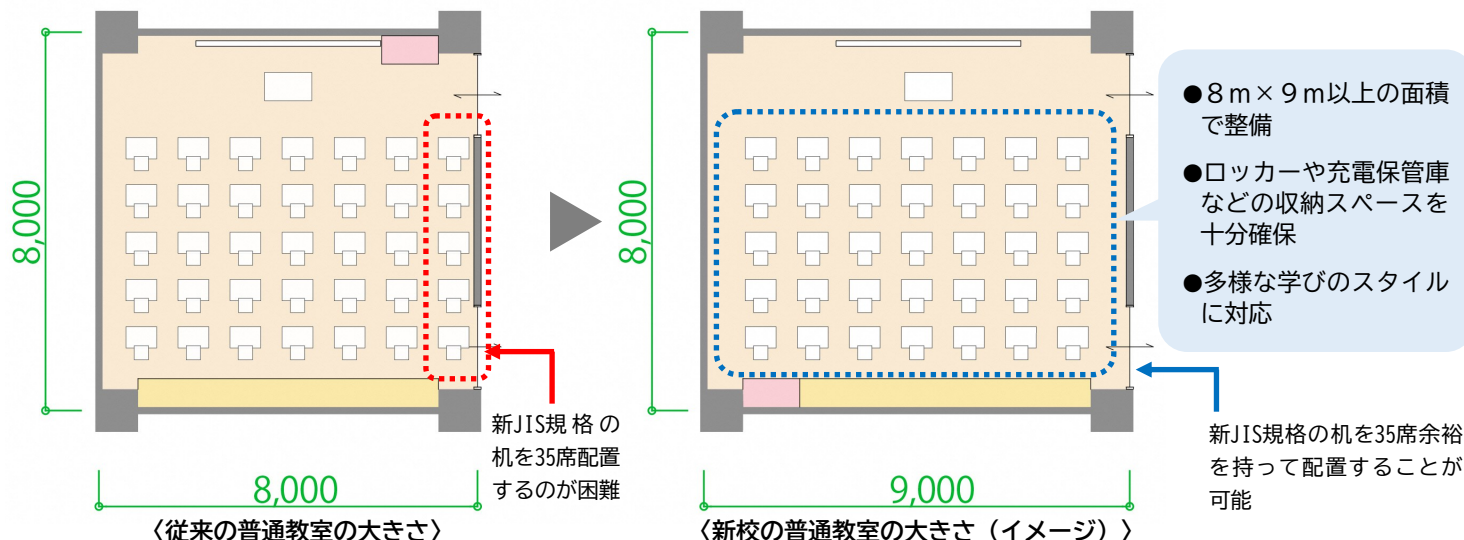
①明るくて、広い教室	56.6%(718)
②おもしろい実験や工作をして学べる場所	50.1%(636)
③調べたり、友だちと話し合っ、学習できる場所	46.1%(585)

〈中学生の結果〉

①心を落ち着かせたり、リラックスできる場所	58.2%(310)
②調べたり、友だちと話し合っ、学習できる場所	50.7%(270)
③明るくて、広い教室	48.0%(256)

※カッコ内は回答数

ー従来の普通教室よりもゆとりのある広さを確保ー

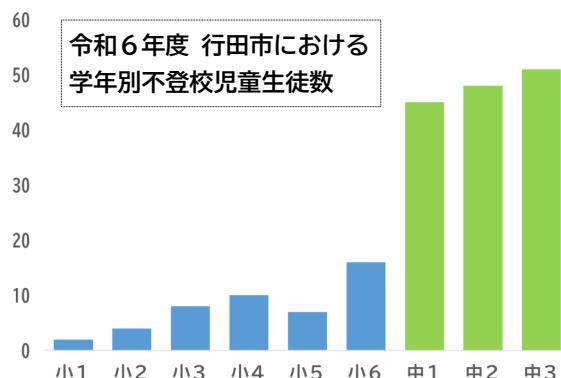
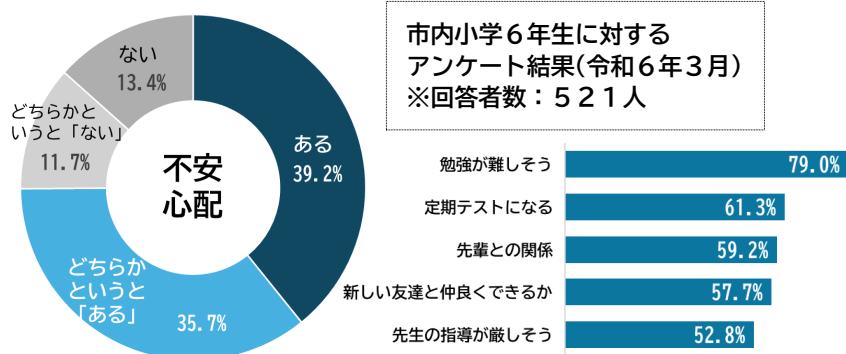


なぜ、小中一貫教育が必要なの？

市内の小学6年生に対するアンケート結果（令和6年3月実施）では、中学進学段階で、新しい環境に身を投じることに楽しみに感じている一方で、不安や心配が「ある」または「どちらかという『ある』」と感じている児童も一定数いました。特に、学習面や先輩、友人、先生との人間関係で不安や心配を抱えているようです。また、本市における不登校児童生徒数は、学年別に見ると中学1年生で大幅に増加しており、これは全国的な不登校の現状と同様の傾向にあります。

現行の6-3制による教育制度において、中学校では「教科担任制」、「定期テスト」、「50分授業」、「予習復習を前提とした授業」、さらには専門的・抽象的な学習への移行など、学習環境が小学校のときから大きく変化することになります。これ加えて、部活動における「先輩・後輩」といった縦の厳格な人間関係や校則に基づく指導が突如始まり、学校生活におけるルール変更にも直面することになりますが、思春期を迎える子どもたちは、こうした学習面・生活面での全く新しい環境に対して、戸惑いながらも懸命に適応しようとしているのです。

不登校となる要因は、生徒一人一人の特性や環境により異なりますが、アンケート結果や不登校の状況を見ると、中学校段階への円滑な接続にも課題があるのではないかと考えられます。



9年間の安心と成長を、一つにツナグ「小中一貫教育」

小中一貫教育は、小学校と中学校がそれぞれ別の「島」のように独立している環境を、その間に「地続きの道」を設けることで義務教育9年間を一つの島にするというイメージです。

これにより、小中学校の教員同士が連携し、9年間における学習・生活に関する指導方法を統一・実践することで、子どもたちは心理的に安定して学校生活を送ることが期待できます。

また、小中学校の教職員が互いの視点や専門知識を共有しながら、9年間を見通した授業改善に取り組み、「つまずき」の早期発見やきめ細かな指導を行うことにより、基礎学力の定着や応用力の育成につなげます。



教育委員会では、本年3月に「行田市小中一貫教育基本方針〈Ver.2.0〉」を策定しました。再編後の新校において効果的に小中一貫教育を実践できるよう、本基本方針に基づき、着手可能な取組みから推進していきます。詳しい内容は、市ホームページをご覧ください（右の二次元バーコードからアクセスできます）。



細田真由美さん(行田市教育政策アドバイザー)、天笠茂さん(千葉大学名誉教授)によるトークセッションを開催

「義務教育学校になると、これまでの小中学校と何が変わるの?」、「子どもたちの学びはどう豊かになるの?」そんな疑問にお答えするため、2人の専門家をお招きしてトークセッションを開催します。

参加無料です。ぜひ、お気軽にご参加ください。なお、参加希望の方は、右の二次元バーコードから申し込みください。

